

宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくります。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231

六つの目標を基本に、図書館では、講演会や映写会、講習会などの行事を催しています。今までに「ずいひつを楽しむ講座」「手づくり本の講座」「子どもの本を考える講座」「古文書を読む会」など、さまざまな公開講座

開館当初から、市立図書館では「市民の図書館」になろうと、六つの基本目標を掲げています。①郷土資料の整備充実②児童奉仕活動の充実③体の不自由な人たちへのサービス④コンピューターによる市民サービスの向上⑤館外奉仕の整備充実⑥視聴覚ライブラリーの整備充実です。

昭和56年7月7日に産声をあげてから、今年で3歳の誕生日を迎えました。

市民の参加と協力

量から質への転換期
満3歳になりました

を持ち、たくさんの方々の参加していただきました。そして、講座をきっかけにして、いくつかのサークルが生まれ、それぞれに個性ある活動を続けています。

また、資料の充実においては、市民の方々からの寄贈が大いに役立っています。特に郷土資料に関しては、多くの市民から寄贈された資料が、利用者の研究・勉強に供されています。一般書や児童書

もたくさん寄贈され、1・2階の書架だけではなく、地下にある保存書庫でも多くの資料が、みなさんの利用を待っています。

開館からいままでは、貸出を利用した人は、のべ768、462人にもなります。一人の市民が約2回、本やレコードを借りていることになりました。また、貸出冊数は、のべ2、416、737冊です。

本館貸出（移動図書館、団体貸

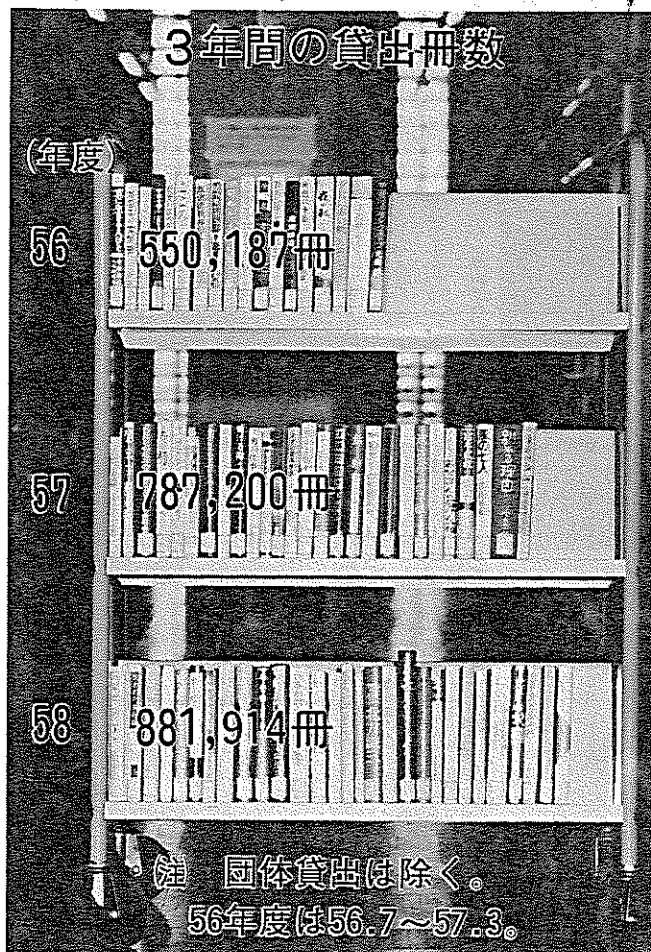
出を除く）が百万冊を達成したのは、昨年の2月16日のことでした。7月20日には、ついに二百万冊を突破しました。開館3年と2週間での達成です。

市民と資料と職員と

図書館職員は、多くの利用者の方々の要求に合ったものを膨大な量の資料の中からの確に結びつけなければいけません。そのため、資料を探すための目録の充実や、保存書庫の整備など、内部の充実を図らなければなりません。職員の学習努力も、もちろんのことです。開館から3年を経過し、量から質への転換期を迎えていると言つてよいでしょう。

今年度は、コンピューターの漢字化を図り、今までカタカナで打出されていた目録を、漢字かなまじりの読みやすいものにしようと計画しています。

図書館は、市民と資料と職員との三つの上に成り立っています。この三者はそれぞれに、図書館を「市民の図書館」にするために、必要不可欠なのです。3年目という一つの節目を迎えた図書館を、これからも、暖かい心で、そして厳しい目で見守り、育ててほしいと願っています。



郷土の勉強に朗報！

郷土資料目録・近世文書目録刊行

図書館では、開館以来、重点目標の一つとして、「郷土資料の整備充実」に努めてきました

が、このたび、「宇都宮市立図書館郷土資料目録」と「宇都宮市近世文書目録」の2冊の目録を刊行しました。

郷土資料目録は、宇都宮市立図書館が所蔵している郷土資料を、宇都宮市郷土資料分類表により分類し、編集しました。

この目録は、開館から昭和59年2月までに受け入れた資料1,747

タイトルを収録したもので、本文121頁、書名索引52頁の冊子目録です。

この目録の特徴としては、実際に目録を利用する際に、みなさんが出会う索引の重要性を考えて、書名・副書名の索引のほか、件名・細目の索引をつけ、最大限に目録を使ってもらえるように、工夫しました。

近世文書目録は、宇都宮市史編さんのために、市史編さん室が収集した資料と、その後、市立図書館が昭和58年12月までに、独自に収集した資料を、分類整理して収録した目録です。

この目録は、江戸時代と明治時代前期を中心に、宇都宮の歴史を調べるうえで欠かせない文書、3,250点を収録し、本文・分類表・宇都宮歴史年表、その他合わせて200頁の冊子目録です。

特徴としては、項目・内容ごとに詳細に分かれた分類表をもとに、必要とする資料を、即座に、探し、選ぶことができるようにしたこととです。

最近、ふるさと宇都宮への関心は高まり、利用者のみなさんの郷

開館3周年を記念して、7月8日、午後7時から宇都宮市文化会館小ホールに、お茶の水女子大学教授外山滋比古氏を講師に招き読書推進講演会を開催しました。

雨の日にもかかわらず、たくさんの方が最後まで講演に聞き入っていました。

「未知を読む」と題



未知を読む

外山滋比古氏

して1時間半にわたり興味ある話をうかがいました。

読書する時間帯は早朝がよいそうですね。大脳生理学上、頭の冴えた空腹時がもっとも脳に刺激を与えられるからです。夜に読書する人が多いと思いますが、参考にし

たらどうでしょう。

「未知を読む」ということは、日常生活で体験したことや見聞した事柄に関した本を読むことではないのです。新聞や週刊誌を読むのは、「既知を読む」ことであり、本当の意味での読書とは言えない

のです。

読書とは、自分の知らない世界に入り込むことです。歩かずに世界中を旅することです。ほとんど読書しない人には、戸惑いや苦痛を伴うでしょう。それを乗り越えることにより読書の真の楽しみが得られるでしょう。それには、自分にあつた本を見つけるまで、

乱読する必要があるでしょう。生涯に、読み返すたびに新しい事が発見でき、自分にとっての古典と言える本を数多く見つけ出すことによって、人生が豊かになると結論されました。

静かに利用しよう

日曜日、夏休みは、特に学生で混み合います。

閲覧室は、自習の場で、複数で利用するところではありません。お互いに他の人のことを考えて、行動して下さい。

知識を得るだけでなく、社会生活のマナーも学んでください。

土資料に対する質問、研究も活発になってきました。ふるさとの先人たちが残してくれた、知識や文化などをたどる上で、この2冊の目録は、きっと、みなさんのお役にたつことと思います。

ぜひ、ご利用ください。

また、この目録作成作業で得た教訓を活かし、後日再編したいと思ひますので、皆様のお手元に郷土資料がありましたら、ご協力をお願いします。

2 文庫の紹介

○城東絵本の会

発足 昭和58年4月

所在地 城東分館内

代表者 武井千賀子

(TEL 36-3516)

会員 36名

開庫日時 月曜日

午後2時~4時

定例会は第2月曜日

○ロッキー文庫

発足 昭和59年2月

所在地 北一の沢18-12

代表者 (越野宅)

代表者 越野里美

(TEL 25-3172)

会員 46名

開庫日時 土曜日

午後1時30分~4時

※文庫に入りたい方は、代表者まで御連絡ください。

子どもたちの 触れ合いの場

最終回

司会 こんにちは。さっそくですが、発足の動機、目的をお聞かせください。

武井 小さい子に絵本を読んで楽しんでもらいたい、そして本の好きな子に育ってもらえたらと思います。発足しました。

越野 四日市市、浦安市では公民館のなかでの文庫活動に五年間関わってきましたが、宇都宮に引越してきたのを機会に、前々からやりたかった家庭文庫として出発しました。

司会 活動の内容は?

越野 最初の頃は紙芝居など私がやりましたが、今では子どもたちの自主運営に任せています。紙芝居の舞台に触るのも嬉しそうだし、貸出のカード書きも喜んでやっています。

武井 私たちは小さい子が中心です。貸出の他に月一回定例会と称してお母さんにも一緒に来ていただき、紙芝居や映写会を行っています。

越野 読み聞かせは?

武井 ええ。現在作家の紹介を続けているんですが、その作品とか季節や行事に合わせた本の読み聞かせをしています。

越野 小さい子は楽しみにして来るとですね。

武井 そうですね。分館の理事さんも協力してくださり、軌道に乗ってきたところです。

司会 新しい文庫として苦労する点もあると思いますが、蔵書はどのようになっていますか。

越野 幸い市の広報や下野新聞などで紹介していたので、三百冊以上の寄贈があり、市の団体貸出と手持ちの本を合すると約六百冊になります。



越野さん

武井 絵本に関する書籍を参考にし、さらにお母さん同士の話し合いの中で推薦されて購入した絵本が約三百冊、団体貸出が百冊です。司会 そうですか。ところで、子どもと読書について、どうお考えですか。

越野 子どもが自分で本を選ぶことが大切ですね。

武井 初めから押しつけではなく、親としては、子どもが読みたい本を自分で選べる習慣が身に付くよ

うに見守ってあげられればいいですね。

越野 そう。取捨選択の目をつかんだ段階で初めて親が口を出す。お父さん、お母さんが選ぶところなるのか、という新鮮な感動を子どもは得られます。

武井 逆に親は、自分の子はこういう本を選ぶんだな、という認識につながりますね。

越野 それと、本を読んだ効果がすぐ表われると感違いしてはいけませんね。期待が大きいかえって本から離れていき、逆効果になってしましますね。

武井 文庫としては、身近に本があるという環境づくりに役立ちたいですね。

越野 ええ。子どものコミュニケーションの場でありたいですね。あそこへ行ったら本を借りなきゃいけないみたいな場所であってはならないと思う。「おばさん、きょうは本は借りない、遊ぶだけだよ」でいいと思うの。

司会 第二義的に本がある、ということですね。

越野 そうです。先日バザーをやりました。営利が目的ではなく、文庫の場所を知ってもらうためでしたが、準備の段階で低学年から高学年まで皆がまとまり、タテの

つながりもできてきました。司会 そうですか。最後に、今後の抱負などありましたら……。

越野 文庫を通して、子どもに触れ合いの場、お母さん達の交流の場にしていきたいと思っています。

武井 一人一人のこどもをもよく知って、個人にあった本の出会いがあれば、きっと本好きな子になるでしょうね。そして、絵本を通して楽しい和が広がるといいですね。

司会 ありがとうございます。

出席者

武井千賀子(城東絵本の会、代表)
越野里美(ロッキー文庫、代表)

目次

問 学生はなぜ、エレベーターを使えないのですか?

答 経費の節減ということばかりでなく、健康のためにも、階段を利用しましょう。図書館のエレベーターは、資料を運んだり、車イスの方が、館内どの階も利用できるためにあるものです。ご協力お願いします。



武井さん

読みきかせ講座

今年も「読みきかせ講座」を次のように行います。読みきかせを学んで、お子さんと一緒に夏休みを一層楽しいものにしてみませんか。講師は地元出身で日本子ども本研究会次長の大澤マツ氏。

日時 8月12日(日)
午後1時30分～3時30分
定員 一〇〇名

落語会

市内アマチュア落語会の出演で、第12回落語会を開催します。この落語会では、「聞く読書」として声の図書を作成し、目の不自由な方々に鑑賞していただきます。寄席の臨場感を出すため、ぜひご来場し、いっしょに楽しんでください。

日時 8月25日(土)
午後3時～5時

場所 市立図書館3階集会室

子どもの本を考える

日時 8月26日(日)
午後1時30分～午後3時30分
講師 児童文学者 大川悦生氏
テーマ 民話・笑い話からおぼけ

話まで

場所 市立図書館 集会室

定員 一五〇名
受付 8月17日(金)午前9時から

ずいひつ講座(第1回)

日時 9月9日(日)

午後1時30分～3時30分
場所 市立図書館3階集会室

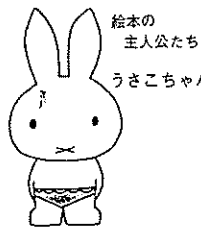
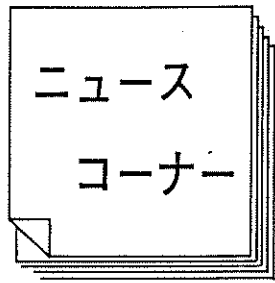
講師 高木護氏(詩人)

テーマ 「私の書き方」

定員 一〇〇名

受付 8月31日(金)

午前9時から



「うさこちゃんとうみ」よりブルーナ(作)

ずいひつ講座(第2回)

日時 9月16日(日)

午後1時30分～3時30分

場所 市立図書館3階集会室

講師 芳賀綾氏(東工大教授)

テーマ 「文章を書く力について」

定員 一〇〇名

受付 9月7日(金)

午前9時から

貸出状況

区分	59年6月	59年度累計 59/4～59/6
登録者数	1,502人	79,183人
貸出人		
館内	19,807	50,995
視聴覚	2,159	5,301
館外	4,118	8,329
計	26,084	64,625
貸出冊数		
館内	63,294冊	162,421冊
視聴覚	4,709	11,647
館外	17,175	35,015
計	85,178	209,083

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数

6月の	館内	1日あたり	館外	1ステーションあたり
貸出人数	792人		34人	
貸出冊数	2,532冊		141冊	

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時

ただし、児童図書室は

午前9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日

国民の祝日

図書整理日(毎月初日または翌日)

○貸出は

一人5冊(レコード・テープを含む)・2週間以内

○休館日カレンダー

日曜日あるいは月曜日と祝祭日が重なり、振り替え休館になることがあります。

お手元に一枚「休館日カレンダー」を!

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						①
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	⑮
16	⑰	18	19	20	21	22
23	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
26	㉖	27	28	29		

8月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						①
5	⑥	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	㉑	28	29	30	31	

ボランティア製作

あたらしい本

声の図書

▽水の流浪他(藤田東子)▽重役養成計画他(木村あい)▽飛鳥へそしてまだ見ぬ子へ(藤田八重子)▽太陽の絵筆(青木桂子)▽私の台所(田中義子)▽リハビリテーション整形外科▽仮面劇場(横山嘉子)▽家庭菜園(宇佐美怜子)▽九月の空(石井武子)▽南欧の永遠の女たち(佐藤孝子)

点訳図書

▽ゆうびんサクタ山へいく(四十物恵子)▽序の舞(上)(斎藤俊子)▽ことばの海へ雲にのって(松村文江)▽ちいさいおうち(大坪靖子)▽ハイデルベルク(猪瀬鏡子)▽千一夜物語(三)

奇 贈

小幡正寿「秘録満洲鐵路警護軍」・三井カナダ基金「東京の空にカナダの旗を」・館野廣一「名著復刻全集近代文学館」・琉球銀行「戦後沖縄経済史」・金井敬七「豊田源之助遺稿集」・橋本千春「栃木の果実酒」・ニュージランド大使館「ニュージランド百科事典」・宇都宮大学教養部「教養部十五年誌」ほか多数。